病児保育室 あんず通信 Vol.116 令和7年6号

～あんず通信では感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

6月：水無月（みなづき）

梅雨の季節、ジメジメ暑くなってきました。6 月 21 日は夏至、1 年で最も昼時間が長くなります。熱中症や脱水症に気を付けましょう。

【感染症だより】

～ウイルス性胃腸炎について～

冬、春に引き続いて胃腸炎の流行がつづいています。嘔吐、下痢、食欲不振、発熱などがみられます。胃腸炎で注意したいのは脱水症です。胃腸炎では、嘔吐や下痢によって体の水分が失われ、体重が減ってしまいます。体重が 10 kg以上で体力のある子どもであれば、すぐにグッタリする事はありません。しかし、体重 10 kg未満の乳児や、普段から食の細い子どもでは、胃腸炎から脱水症が進んでしまう事があります。脱水症では顔色が悪くなり、唇や皮膚が乾燥、目がくぼんだり、無表情、動かない、尿が少なくなるなどします。このような状況にならないよう、少量ずつでよいので経口補水液などの水分を頻繁に飲ませましょう。元気な時であっても水分は体重１０kgの子どもであれば１日 1000ml は必要です。飲ませても嘔吐してしまう、飲ませる以上に下痢がどんどん出てしまう、グッタリしたまま改善しないときは点滴治療が必要です。

【1 日水分摂取量の目安】

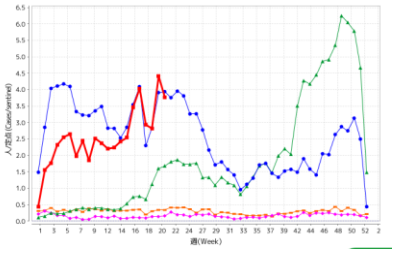
体重	1 日体重当たりの水分量
10 kg未満	60～120ml/kg（8kg なら 480～960ml）
10 kg以上	120～140ml/kg（15kg なら 1800～2100ml）

～溶連菌感染症について～

A 群溶血性連鎖球菌という細菌による感染症です。この数年は毎年継続して流行しています（東京都感染症情報センターより下の図は赤線が 2025 年、青が 2024，緑が 2023）。

2～5 日の潜伏期の後、38℃以上の急な発熱、咽頭痛、苺舌、発疹などの症状がみられます。、同時に、頭痛や腹痛、嘔気がみられることが多く、逆に咳や鼻汁は少ないです。自然経過でも発熱は 3～5 日以内で解熱し、1 週間以内に症状は改善します。飛沫感染、接触感染で広がります。治療には抗菌薬が必要となり、除菌のために 7～10 日間内服します。内服から 24～48 時間は出席停止となっています。稀に重症化、合併症には腎炎、リウマチ熱、肺炎、髄膜炎、敗血症などがあります。有効な予防接種はありません。

⇓　溶連菌の流行状況　⇓



☚百日咳

～百日咳の予防接種について～

予防接種（四種混合や五種混合ワクチン）による免疫効果の持続は 5～10 年と言われています。日本小児科学会では、小学校就学前と 11－12 歳の時期に三種混合（DPT）ワクチン任意接種を推奨しています。

～あんず求人のお知らせ～常勤＆パートの保育士さんを探しています。詳細はホームページまたは求人サイトをご覧ください。

表：５月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	胃腸炎(ｱﾃﾞﾉ 10 ﾛ３含む)	105
2	溶連菌	97
3	リンゴ病(伝染性紅斑)	9
4	咽頭ｱﾃﾞﾉｳｲﾙｽ(ﾌﾟｰﾙ熱)	7
5	突発性発疹	5
6	RS ウイルス	2
6	とびひ(伝染性膿痂疹)	2
8	ﾋﾄﾒﾀﾆｭｰﾓｳｲﾙｽ	1
8	新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ	1
8	手足口病	1

あんず通信ﾊﾞｯｸﾅﾝﾊﾞｰはｸﾘﾆｯｸ
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞからご覧になれます

～あんずからのお願い～

★空き状況は Web で
ホームページから確認出来ます。**ご予約は**前日または当日**必ずお電話で（042-513-4158）**お願い致します。

👇**空き状況はこちらから**

★キャンセルをされる場合
留守番電話でも構いませんので**当日８：30 までに必ずご連絡を**お願い致します。利用ご希望の方が１人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★ご予約の際の注意事項
診察を受けた**病名**によって、お部屋割りをしています。なるべく同じ病気（感染症）のお子様が同じお部屋にすることで、子ども同士の伝染を防ぎます。また、感染症の接触歴、流行状況等をお聞きしております。ご協力をお願い致します。

★保険資格確認について
入室後必要に応じて医師が診察をします。健康保険証又は資格確認書をお持ちください。どちらもお持ちでない場合、マイナ保険証の方はスマホでマイナポータルのページを確認させて頂きます。